

キッカケ沢 立倉山途中

齋藤 美和子

■山行年月日：2021年

9月18日～19日

■メンバー：CL 齋藤美和子、大竹幹衛、
大竹尚子、杉山雅英

■コースタイム：

18日 新鶴駅16:50～奥只見湖19:00

19日 奥只見湖5:30～南沢林道分岐
6:40～キッカケ沢分岐テント場 7:50～
8:15～1050m 地点 12:30～12:40～キッ
カケ沢分岐テント場 15:40

立倉山は、奥只見湖を囲む急峻な山の一つであり袖沢林道から南沢沿いの林道を進んだ最初の沢、キッカケ沢からのルートを探った。「南会津・越後の山」によれば、出会いから2時間半で山頂に着くようだ。前日新鶴駅に集合し出発。約4時間で奥只見ダム駐車場に着きテント泊。

翌日は朝もやの中を5時50分に出発。ゲートを越え、近道を通り袖沢林道に入る。袖沢林道からの景色は、紅葉はまだ早いですが、険しい山肌に霧が張り、非常に幻想的で美しかった。南沢の林道は、2011年の豪雨で寸断されたと聞いていたが、かなり修復されており、途中に重機やバスなどが駐車しておりキッカケ沢出合いの直前まで道ができていた。

8時には出合いについてテントを張り出発。天候は快晴。入ってすぐに岩盤。釜を持つ小さな滝が連続している。滑滝だ。4mの滝は左を巻く、どんどん進ん

でいくと、8mの滝。この滝を左から巻いて次は5mの滝。もう一つ滝を登り開けた場所についた。ここで1050mであった。山頂まではあと200m残っているが、お昼も過ぎたのでここで終了とした。これより上部はさらに急で大変そう。山頂から水がしたたり落ちている岩盤が見えた。

振り返れば、高幽、梵天、丸山岳が見えた。帰りは、懸垂は6回くらい。途中で幹衛さんが20cmくらいのイワナを手掴みしたが持ち帰る途中で逃げられた。3時間で出合いまで降りた。澄江さんたちが来てテントを張っていた。私は、明日用事があり澄江さんにおにぎりをもって下山。南沢出合いまで30分。袖沢林道を歩き続けていると、長岡ナンバーの夫婦の車が通り、奥只見ダム駐車場まで乗せてくださった。

滑の美しい、景色のよい沢でした。幹衛さん、尚子さん、杉山さん本当にありがとうございました。



滑のきれいなキッカケ沢